

平成30年度 二次保健医療圏における重点取組

- 和歌山保健医療圏 _____ P. 2
(和歌山市保健所、海南保健所)
- 那賀保健医療圏(岩出保健所) _____ P. 3
- 橋本保健医療圏(橋本保健所) _____ P. 4
- 有田保健医療圏(湯浅保健所) _____ P. 5
- 御坊保健医療圏(御坊保健所) _____ P. 6
- 田辺保健医療圏(田辺保健所) _____ P. 7
- 新宮保健医療圏 _____ P. 8
(新宮保健所、新宮保健所串本支所)



二次保健医療圏	構成市町村名
和歌山	和歌山市、海南市、紀美野町
那賀	紀の川市、岩出市
橋本	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
有田	有田市、湯浅町、広川町、有田川町
御坊	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町
田辺	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町
新宮	新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町
計7圏域	9市20町1村

運動習慣定着事業

和歌山保健医療圏(和歌山市HC・海南HC)

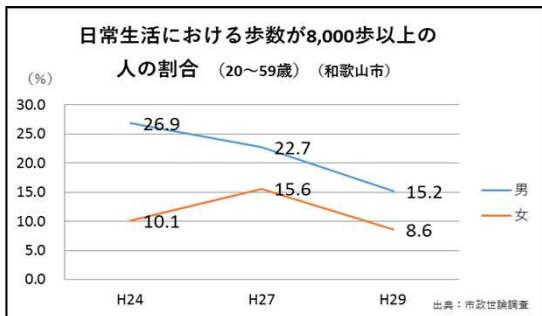
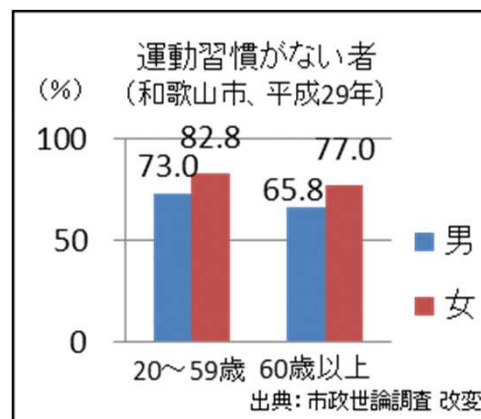
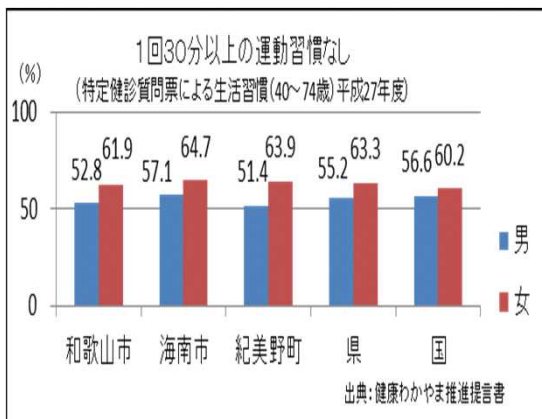
取組の背景

- 和歌山県では、男女とも全国に比べ日常生活における歩数が少ない。そこで、地域保健・職域保健連携事業の中で運動習慣定着事業を、市町村の健康・運動イベントと共催して実施することとした。

課題

- 運動習慣者の割合が少ない
- 日常生活における歩数が少ない

地域のデータ等の分析



健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)平成25年

	和歌山市	海南市	紀美野町	県
男	77.6	77.4	76.9	77.3
女	82.1	82.1	82.6	82.1

出典:健康わかやま推進提言書

運動習慣者を増加させる

取組概要

1. 目的
日常生活に取り入れやすい運動方法を習得し、運動習慣を身につけることを目的とする。
2. 内容
市町村の既存の健康・運動イベントと共催して、運動習慣定着事業を実施した。(紀美野町・和歌山市・海南市で順に共催)
第13回紀美野町スポーツ・レクリエーション大会
～みんなでカラダを動かそう!!～

【開催時期】 10月の体育の日

【参加者数】 150人(ウォーキング種目は21人)

ウォーキング種目参加者内訳

10代以下	10代	20代	30代	70代
10人	2人	1人	5人	3人



取組の成果等

平成30年度から市町村と共催して運動定着事業を実施している。紀美野町での健康・運動イベントについては、教育委員会(生涯学習課)主催のため、若い世代の参加が多かった。初年度のため、地域と職域の連携がうまくできず、職域への周知があまりできなかった。今後、市町村の担当者とも連携し、また、当協議会の商工会や協会けんぽ、農協などの協力を得て、働く世代の方も含め多くの方が参加できるよう、周知啓発に努め運動習慣の定着につながるよう取り組んでいきたい。

取組の背景

○両市とも自殺死亡の状況が3位以内(平成25-26年計)
※健康わかやま推進提言書より

課題

○自殺者は、40歳以上が多く、有職のため、職域でのメンタルヘルス対策が重要であるとともに、家庭や地域での支援も不可欠。

地域のデータ等の分析

全国、和歌山県と各市の死亡状況(0~64歳の死因)

※年齢階級別性別死亡者数H25-H26)

	1位	2位	3位
全国	悪性新生物	心疾患(高血圧を除く)	自殺
和歌山県	悪性新生物	心疾患(高血圧を除く)	自殺
紀の川市	悪性新生物	心疾患(高血圧を除く)	自殺
岩出市	悪性新生物	自殺	脳血管疾患

県・圏域の自殺の特徴

※地域自殺実態プロフィール【2018】より

自殺者数 (H25~H29)	上位5区分				
	1位	2位	3位	4位	5位
和歌山県 994人	男性60歳以上 無職同居	男性40~59歳 有職同居	女性60歳以上 無職同居	男性60歳以上 無職独居	男性20~39歳 有職同居
	内上位495人	143人(14.4%)	107人(10.8%)	97人(9.8%)	78人(7.8%)
那賀圏域 104人	男性60歳以上 無職同居	女性60歳以上 無職同居	男性40~59歳 有職同居	男性60歳以上 有職独居	男性60歳以上 無職独居
	内上位57人	16人(15.4%)	14人(13.5%)	13人(12.5%)	8人(7.7%)

取組概要

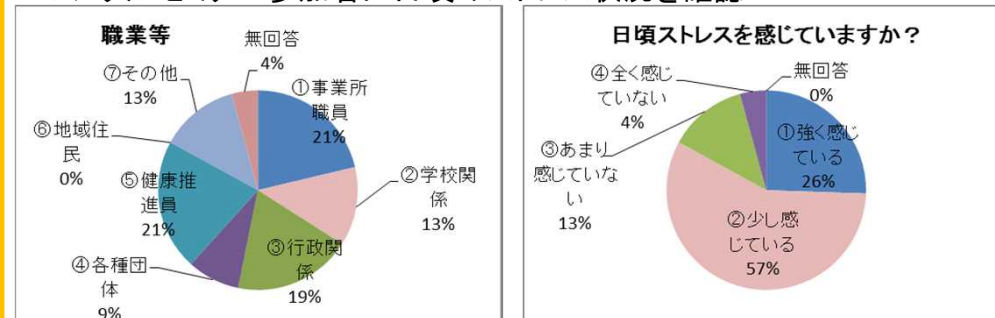
1. 目的
メンタルヘルスやストレスに対する正しい理解とその対処法の習得
2. 対象
事業所職員の健康管理担当者、健康推進員、健康関係団体のリーダー等
3. 内容
早期のストレスへの気づき、そのポイントや関わり方などを体験学習を交えて実施

○講演「職場や家庭での心の健康を、守るために」
 ~早期の気づきとケアポイント~
 講師 和歌山診療オフィス 上野和久先生
 日時 平成31年1月18日(金)
 場所 那賀振興局

取組の成果等

- 受講者 49名
- 評価(実施後のアンケート)
 講演の感想(理解できた61%、概ね理解出来た36%)
 今後の活用(今後とても役に立つ81%、少し役に立つ17%)
 家庭や職場での健康づくりに向けた実践へつなげることが出来ると考えられる

メンタルセミナー参加者に日頃のストレス状況を確認



※メンタルヘルスセミナー参加者のアンケート結果より

取組の背景

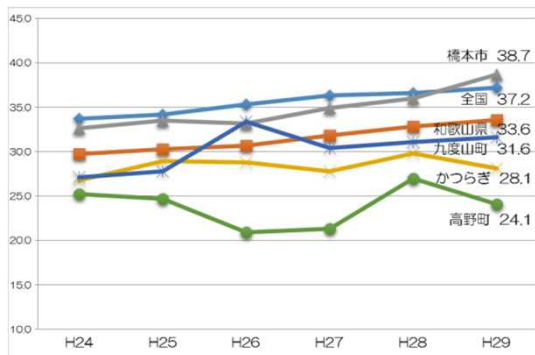
- 急性心筋梗塞、脳血管疾患、糖尿病により死亡する人が多い

課題

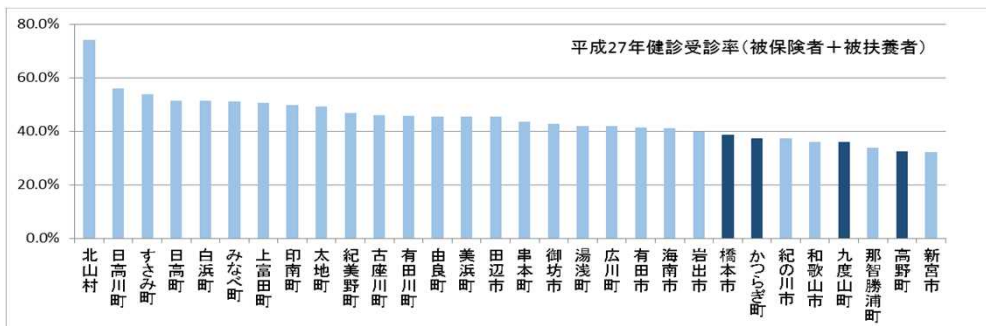
- 国保加入者の健診受診率が低い
- 協会けんぽ加入者の健診受診率が低い

地域のデータ等の分析

● 管内健診受診率の推移



● 平成27年度協会けんぽ加入者の健診受診率



全国健康保険協会和歌山支部 第1回和歌山支部健康づくり推進協議会 資料集

取組概要

1. 目的

- ① 特定健診受診率の向上
- ② 働く世代の受診率向上と健康づくり推進

2. 内容

- ① 受診率向上への取り組み
 - ・ 受診勧奨通知の回数を増やす
 - ・ 健康推進員からの受診勧奨
 - ・ 上半期の未受診者に個別通知
 - ・ 広報での掲載回数を増やす
 - ・ 日曜日の健診実施
 - ・ 管内の健診(検診)や健康づくり事業を冊子にまとめ協議会で共有
- ② 働き世代への働きかけ
 - ・ 商工会、JA、消防団との連携し、組織を通じた受診勧奨。
 - ・ 職域を中心とした、メンタルヘルスセミナー等を実施。

取組の成果等

1. 健診受診率(市町村国保法定報告速報値)

橋本市	H28 36.6%	→	H29 38.7%
かつらぎ町	H28 29.8%	→	H29 28.1%
九度山町	H28 31.1%	→	H29 31.6%
高野町	H28 27.0%	→	H29 24.1%

2. 評価

健診受診率については、各取り組みにより、受診率が上がっている市町もあるが、上がらない町は今後も効果的な取組が必要。

取組の背景

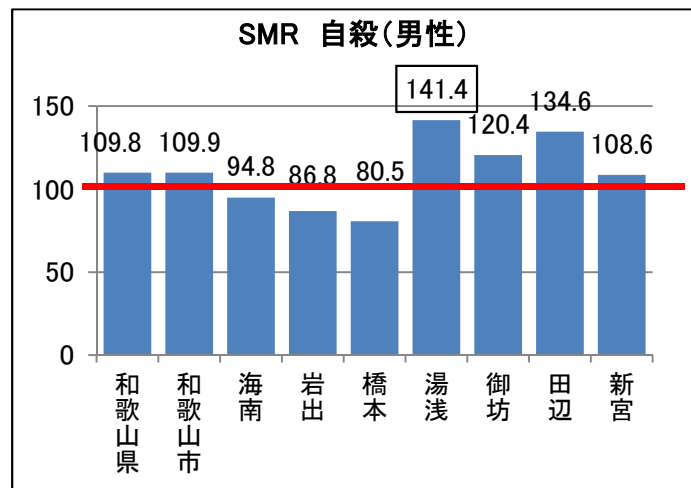
当協議会の構成機関である地域、職域、学域において共通する課題であり、心の病気を正しく理解し、予防行動をとることができること、また心の不調に対して早期発見・早期治療に取り組めるようになることを目的としてメンタルヘルスセミナーを開催

課題

湯浅保健所圏域の男性の自殺の標準化死亡比(SMR)が他圏域に比べて高い

地域のデータ等の分析

保健所別 性別 死因別 SMR(2013-2017年)



市町村別 性別 死因別
EBSMR(2013-2017)
(人口調整を行ったSMR
の経験的ベイズ推定量)

- ・有田市(男性) 139.0
- ・湯浅町(男性) 123.4
- ・広川町(男性) 146.8
- ・有田川町(男性) 128.1

※男性の自殺のSMRが高い ⇒ **メンタルヘルス対策が重要**

取組概要

1. メンタルヘルスセミナー

- ・目的 ストレス対処の実践的な手法等を各領域の実務担当者身につけてもらうことで、持ち帰って実践できる
- ・対象 地域住民、協議会委員及び関係団体、管内事業所、商工会・商工会議所会員、民生委員、市町関係者
- ・テーマ 「心と身体のリフレッシュ～みんな笑顔に～」
視力向上ヨガ協会和歌山支部長 高野宏恵氏

2. 「有田圏域いのち支えあいプラン」の策定支援

- ・目的 圏域全体と各市町では、高齢者や生活苦による自殺が多いという共通の課題があり、各市町が連携しながら自殺対策に取り組むため、4市町合同で計画を策定
- ・経過 2018年10月に各市町合同で計画策定委員会を設置し、3回の策定委員会を実施、2019年3月に策定された
- ・内容 有田圏域と各市町における自殺の現状と課題をもとに、2019～2023年の5年計画とし、基本理念、数値目標、共通施策、各市町個別施策を掲げた
(ゲートキーパーの養成、住民への啓発、支援の充実、教育、高齢者や生活困窮者に対する自殺対策の推進、等)

取組の成果等

1. メンタルヘルスセミナー

- ・参加者 22名
- ・評価 各団体の委員や地域ボランティア等、地域において核となる人の参加が多く、地域での活躍が期待される
- ・今後の展望 各領域において共通のテーマを選定し、今まで参加が少なかった領域からの参加者を集めて、啓発していく

2. 「有田圏域いのち支えあいプラン」の策定支援

- ・今後の展望 各市町において成果と課題を把握し、圏域全体で有田圏域いのち支えあい推進協議会を開催し、全体の進捗状況を把握し取組の改善を図る

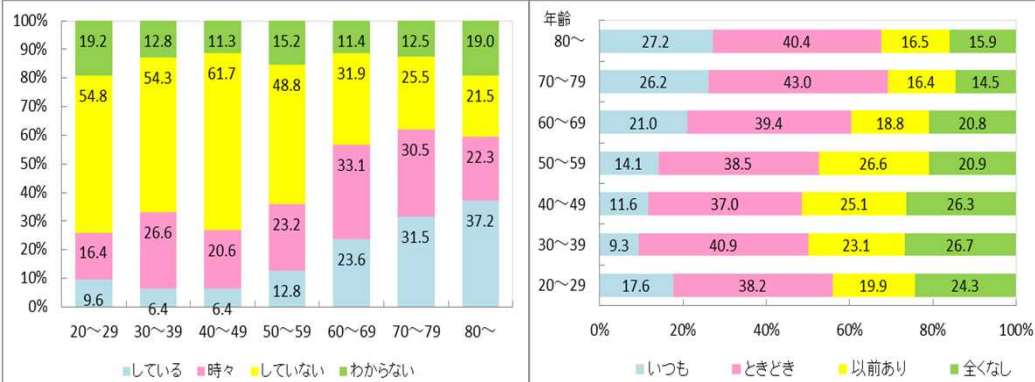
取組の背景

○健康日高21(第2次)中間評価の結果では、各分野で働く世代の健康データの結果が思わしくなかった

課題

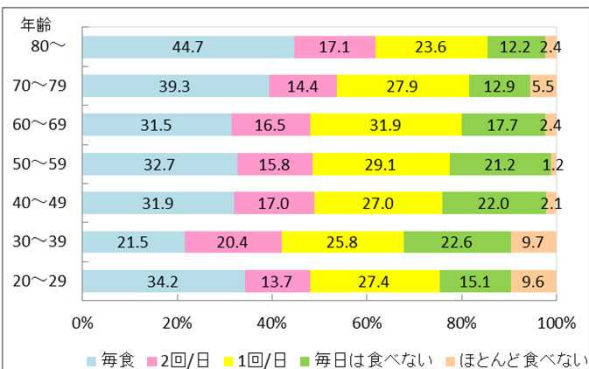
○労働基準監督署や農協、商工会議所等職域の健康づくりの取り組みについての情報がなく、連携がとれていない

地域のデータ等の分析



減塩を実行している割合(男性)

日頃から意識的に運動しているか(総数)



野菜摂取頻度(男性)

健康日高21(第2次)中間評価とは・・・平成29年6月~7月に御坊保健所管内1市5町の20歳以上の住民から4,000人を無作為抽出し、郵送法により自記式で無記名のアンケート調査を実施。調査項目は、性別、年齢階級、食習慣、運動習慣など45項目。

健康日高21(第2次)中間評価より

取組概要

1. 目的
 - 働く世代への健康づくりを推進するため関係機関の連携を図る
2. 内容
 - ①メンタルヘルスセミナーの実施
 - ・労働基準監督署と共催実施
 - ・11月に職域の健康管理者を中心に実施
 - ②職域リーダー研修会の実施
 - ・3月に職域の健康管理者を中心に実施
 - ・受動喫煙対策の体制整備等について講習会を実施
 - ③農協女性部主催の「くのいちフェスティバル」へ協力
 - ・2月に健康日高21推進協議会のブースを出展
 - ・来場者に対し、健康測定及びCOPDの啓発を実施
 - ④御坊市商工会議所及び各町商工会へ健康づくりの推進
 - ・3月に各会を訪問
 - ・健康日高21(第2次)中間評価の結果を持って、出前講座等の開催を依頼
 - ⑤出前講座
 - ・食品衛生協会総会時、飲食店管理者に対し、受動喫煙について講義

取組の成果等

- メンタルヘルスセミナー
 - 参加者:65名(うち事業所31名)※H29 事業所12名
- 職域リーダー研修会
 - 参加者:33名(うち事業所23名)
- くのいちフェスティバルへ参加
 - 肺年齢測定者:61名
- 評価
 - メンタルヘルスセミナーについて、労働基準監督署と共催することでより多くの事業所の参加があった。また、農協のイベントに参加する事や商工会等への訪問で、働く世代の健康づくりの必要性等について周知や関係性を作ることができた。

取組の背景

○和歌山県の心疾患死亡率が男性ワースト7位、女性ワースト2位と高く、死因の第2位を占める。食塩摂取量が目標値より高い。

課題

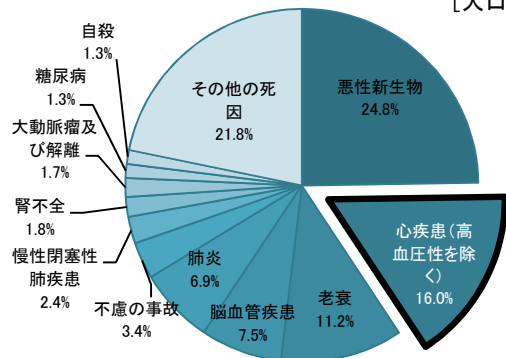
○田辺保健所管内においても心疾患は死因の第2位であり、心疾患のSMRは全国と比較して有意に高い

地域のデータ等の分析

○心疾患年齢調整死亡率(人口10万対)
(平成27年) [人口動態統計特殊報告]

	男性	女性
全国	65.4	34.2
和歌山県(全国順位)	74.5(7位)	42.1(2位)

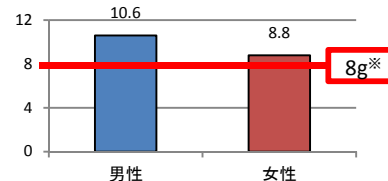
○田辺保健所管内死因別死亡割合(平成29年)
[人口動態統計]



○田辺保健所管内SMR(平成25~29年) [健康推進課算出]

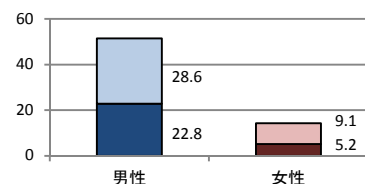
	男性	女性		男性	女性
心疾患(高血圧症疾患除く)	114.2 **	111.0 **	悪性新生物	106.3 *	94.7
急性心筋梗塞	114.0	123.5 *	悪性新生物(胃)	112.0	99.0
その他の虚血性心疾患	181.5 **	186.0 **	脳血管疾患	99.6	96.2

○和歌山県食塩摂取量
(平成28年) [国民健康・栄養調査]



※第三次和歌山県健康増進計画における食塩摂取量目標値

○和歌山県メタボリックシンドロームの状況
(平成28年) [県民健康・栄養調査]



□メタボリックシンドロームが強く疑われる者
■メタボリックシンドローム予備軍と考えられる者

取組概要

1. 目的

心疾患の原因である高血圧や肥満等の生活習慣病を予防することを目的に健康教育を行う。中でも、健康管理を行う上で最も重要な時期といえる働く世代を対象に、「減塩対策」に重点を置いて職域の健康づくりの推進を目指す。

2. 内容

【出張出前講座の実施】

地域・職域連携推進事業において保健所と働く世代(事業所)を結ぶ役割の商工会及びその会員である中小企業に対し働きかけ、保健師・栄養士による出張出前講座を実施した。

講座内容:

- ①和歌山県の健康状態について
- ②減塩対策について
- ③体験学習(3種類の異なる塩分濃度の味噌汁の試飲または、2種類の旨味の相乗効果の体感)
- ④まとめ

取組の成果等

○出張出前講座

実施回数：4回

参加者数：121人

○評価

参加者のうち83.5%が「健康づくりに興味がわいた」、95%が「講習会での内容を日常生活で活かしたい」と回答したことから、当該事業が働く世代の健康づくりのきっかけとすることができたと考えられる。

今後は、引き続き職域保健の協力を仰ぎ、働く世代の健康づくりの促進に努める。

*:P<0.05、**:P<0.01

取組の背景

- ◆ 新宮市を除く5町村において、健康増進計画が策定されていない。

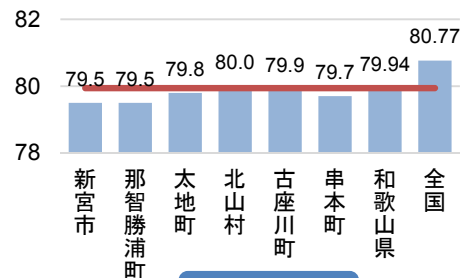
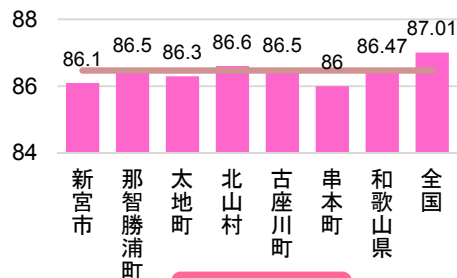
課題

- ◆ 保健所主導の進捗管理となっている。
- ◆ 町村の規模が異なり、アンケートの内容や住民会議の方法等、足並みを揃えることが難しい。

地域のデータ等の分析

★ 詳細は別添資料1をご参照ください。

- ◆ 人口減少、少子高齢化が県内でも顕著
- ◆ 平均寿命は、圏域全体として、和歌山県、全国より短い傾向



女性

男性

- ◆ 死因構成割合は、①悪性新生物(27.1%)、②心疾患:16.7%、③肺炎(11.1%)・・・和歌山県、全国と同様の順位
- ◆ 特定健診では、血糖、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDLコレステロールといった項目の有所見者が多い
- ◆ 特定健診質問票調査による生活習慣の状況は次のとおり
 - 1回30分以上の運動習慣なし
 - 食べる速度が速い
 - 週3回以上、夕食後に間食
 - 毎日飲酒

取組概要

- ◆ 目的
 - ✓ 管内市町村の健康状況を把握・分析することにより、二次医療圏域の健康課題を明確化する。
 - ✓ 管内市町村の健康増進計画策定の支援をする。
- ◆ 内容
 - ✓ 事務局会議(保健所、町村)＝市町村健康課題分析検討会の開催
 - 健康指標の収集、課題の抽出
 - 資料編の作成指導
 - アンケート内容の検討
 - エクセル集計指導 など
 - ✓ 計画策定に向けた研修会の開催
 - アンケートと健康指標から要点を読み解く方法について、指導、助言。(講師:和歌山県立医科大学森岡郁晴教授)
 - *必要に応じて、計画策定済みの新宮市も参加

取組の成果等

管内5市町村で健康増進計画が策定(H30末)

- ✓ 市町村健康課題分析検討会は月1回開催
 - H29年度 --- 11回開催(延べ156名参加)
 - H30年度 --- 8回開催(延べ 98名参加)
 - R元年度 --- 中間評価に向けた研修会 今後
- ✓ 冊子「新宮・東牟婁圏域のすがた」を作成
 - 健康に関する基本的な統計資料及び住民アンケートの結果を収録
 - 本冊子により健康状況の共有と円滑な課題解決に向けた取り組みを推進できる。

健康増進計画策定過程で整理した新宮・東牟婁圏域の健康課題

①人口減少、少子高齢化が県内でも顕著

- 平成27年 圏域人口 67930人(男31409人、女36521人)、高齢化率39.1%(和歌山県30.9%)
- 推計人口 2010年 73666人 → 2040年 42818人 人口指数 58.1(和歌山県71.8)

②平均寿命:平成27年度版では、圏域全体として、和歌山県、全国より平均寿命が短い傾向

平均寿命(平成27年)	新宮	那智勝浦	太地	北山	古座川	串本	和歌山県	全国
男	79.5	79.5	79.8	80.0	79.9	79.7	79.94	80.77
女	86.1	86.5	86.3	86.6	86.5	86.0	86.47	87.01

③死因構成割合(平成23年～平成27年):①悪性新生物(27.1%)、②心疾患:16.7%、③肺炎(11.1%)・・・

④主要死因別標準化死亡比SMR(平成23年～平成27年)

	総死亡	悪性新生物							心疾患	脳血管疾患	肺炎	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺	
		全体	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	子宮								前立腺
男	96.7	101.4	105	115.9	116	92.7	/	/	83.2	100.6	83.6	100.7	115.5	87.6	113.5	84.7
女	106.4	99.9	108	104	132	96.3	96.4	95.3	/	111.7	105.5	116.7	62.2	110.8	104.4	78.1

※濃い色付きセルは有意差あり

⑤要介護認定率(平成28年):圏域市町村 18.4%～24.2%(和歌山県25.3%)

⑥介護に至った疾病(新規認定・要介護2以上):認知症、脳血管疾患、骨折・転倒などが多い

⑦疾病別医療費割合(平成28年度KDB)

入院:①精神及び行動の障害(25.8%)、②新生物(16.1%)、③循環器系の疾患(14.8%)

入院外:①循環器系の疾患(17.8%)、②内分泌・栄養及び代謝疾患(15.3%)、③尿路性器系の疾患(11.9%)

⑧がん検診、特定健診受診率(%)など(平成28年度)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	特定健診	特定保健指導
圏域市町村	16.2～77.6	31.5～65.6	32.3～59.4	44.7～66.3	43.7～70.3	24.6～56.8	18.2～30.8
和歌山県	25.6	27.8	28	51.3	47	32.8	29.8

⑨特定健診有所見者の割合(平成27年度)

標準化比が高い市町村が多い項目:血糖、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDLコレステロール

⑩特定健診質問票調査による生活習慣の状況(平成27年度)

標準化比が高い市町村が多い項目:1回30分以上の運動習慣なし、食べる速度が速い、週3回以上夕食後間食、毎日飲酒